



2026 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 丸 八 証 券 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 鈴木 卓也
(コード：8700 東証スタンダード)
問 合 せ 先 常務執行役員
マネジメント本部長 津坂 聡
(TEL. 052-307-0850)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、2025 年 10 月 30 日開示の「資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応」について、現状の分析・評価を行い、内容をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状の分析・評価

【最近5年間の主要計数の推移】

項目	2022 年 3 月期末	2023 年 3 月期末	2024 年 3 月期末	2025 年 3 月期末	2026 年 3 月期末
営業収益(百万円)	2,864	2,502	3,262	3,082	3,576
経常利益(百万円)	452	129	768	599	1,006
最終利益(百万円)	288	62	517	392	684
純資産(百万円)	7,449	7,354	7,832	7,593	8,208
ROE(%)	3.9	0.8	6.8	5.1	8.7
BPS(円)	1,866.51	1,842.73	1,962.41	1,902.64	2,056.71
PBR(倍)	0.78	0.76	0.85	0.83	0.84
配当(円/株)	40	30	80	60	100
株価(円)	1,450	1,405	1,671	1,583	1,737

※2024 年 3 月期末配当は、記念配 20 円を含む。

※ROE（自己資本当期純利益率）は、期首と期末の平均純資産および最終利益により算定しております。

【株主資本コストについて】

2026年9月時点における当社の株主資本コストは、次のとおり算定し、5～7%と考えております。

株主資本コスト＝リスクフリーレート(国債10年利回り)＋β値(月次5年)×市場プレミアム
(市場リスクプレミアムを6%として算定しております。)

【分析・評価】

2026年3月期末のROEは8.7%であり、株主資本コストを上回っているものの、PBRは1倍を下回る水準となっております。なお、2026年8月に資本コストと株価を意識した経営の観点から、258,900株の自己株式の取得を実施したことにより、9月末時点の指標は下記のとおりとなりました。

(2026年9月末時点の株価等の状況)

株価	純資産の額	発行済株式数 (自己株式を除く)	BPS	PBR
2,111 円	8,051 百万円	3,732,180 株	2,157.3 円	0.98 倍

当社は、投資家とマーケットをつなぐ証券会社として、お客様の大切な資産をお預かりしており、一定以上の自己資本を維持する必要があるとの考えから、現状の自己資本の額(純資産の額)は適正と評価しております。

2. 計画の策定および数値目標

当社は、2025年4月から2028年3月までの中期経営計画(2025年10月30日公表)を策定し、実行することで、2028年3月期末の「ROE 8%以上」を目指して取り組んでまいります。中期経営計画の概要は下記のとおりです。

【中期経営計画の概要】

1. 経営計画策定の趣旨

個人金融資産 2,200 兆円を超える我が国において、国民生活をより豊かにするとの観点から

- ① 世界情勢の変化
- ② 資産形成の必要性
- ③ 少子高齢化の進展

これらの変化に対応し、当社がお客様と共に発展していくための「進むべき方向」と、その「戦略」を示すものです。

2. 経営方針

【基本理念】

「未来の安心のために」

お客様へ 堅実な資産形成と喜びを
株主様へ 永続的な成長と喜びを
従業員へ 考え働く幸福と喜びを
社 会 へ 地元愛知への貢献と喜びを

【基本方針】

経営：透明性の高い明確なコーポレート・ガバナンス（企業統治）の確立
営業：お客様を第一に考えた収益の最大化の確立
管理：業務水準の均一化による付加価値向上の確立

3. 経営戦略

2022 年 9 月 30 日開示いたしました「中期経営計画の策定に関するお知らせ」にある、中期経営計画での経営戦略として掲げた「営業基盤の拡大」「推進体制の強化」「収益構造の安定」を引き続き目指し、展開いたします。

- ① 「営業基盤の拡大」 地域に密着した店舗展開と人員配置により、お客様との対面を中心としたハートフルな対応による満足度向上に努めます。
- ② 「推進体制の強化」 IT、DX の更なる活用を通して、お客様にとっての利便性向上による満足度向上に努めます。
- ③ 「収益構造の安定」 社員の資質向上に努め、社員ひとりあたりの生産性向上を図ること、また費用構造の見直しから収益構造の安定化に努めます。

4. 重点施策

- ① 資産運用の高度化
- ② 資産形成支援の強化
- ③ 世代間の円滑な資産承継

5. 数値目標《2028 年 3 月末》

- ① 預り資産 360,000 百万円 (249,091 百万円)
- ② 自己資本利益率 (ROE) 8 % (5.1 %)

※ () 内は 2025 年 3 月末の数値

以上

資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について

丸八証券株式会社

証券コード:8700(スタンダード)

2026年10月

現状分析と進捗①

項目	2022年 3月期末	2023年 3月期末	2024年 3月期末	2025年 3月期末	2026年 3月期末	2027年 3月期9月末
営業収益 (百万円)	2,864	2,502	3,262	3,082	3,576	2,145
経常利益 (百万円)	452	129	768	599	1,006	968
最終利益 (百万円)	288	62	517	392	684	657
純資産 (百万円)	7,449	7,354	7,832	7,593	8,208	8,051
ROE(%)	3.9	0.8	6.8	5.1	8.7	※ —
BPS(円)	1,866.51	1,842.73	1,962.41	1,902.64	2,056.71	2,157.38
PBR(倍)	0.78	0.76	0.85	0.83	0.84	0.98
配当 (円/株)	40	30	80	60	100	—
株価(円)	1,450	1,405	1,671	1,583	1,737	2,111

※ROE は半期のため数値はありません。

当社は、2025年4月から2028年3月までの中期経営計画(2025年10月30日公表)を策定し、実行することで、2028年3月期末の「ROE 8%以上」の継続を目指して取り組んでまいります。

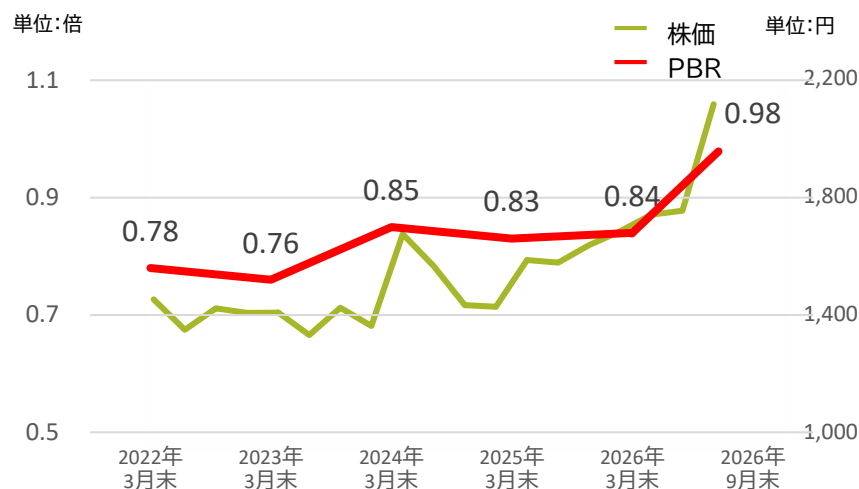
CAPMに基づく当社の株主資本コストは、2026年3月末基準で約5.4%と算定しております。

一方で、当社株式の売買状況等を踏まえると、CAPM算定値のみでは投資家の期待リターンを十分に反映しきれない可能性があるため、経営上は資本コストを概ね5%～7%程度と認識しております。

現状分析と進捗②

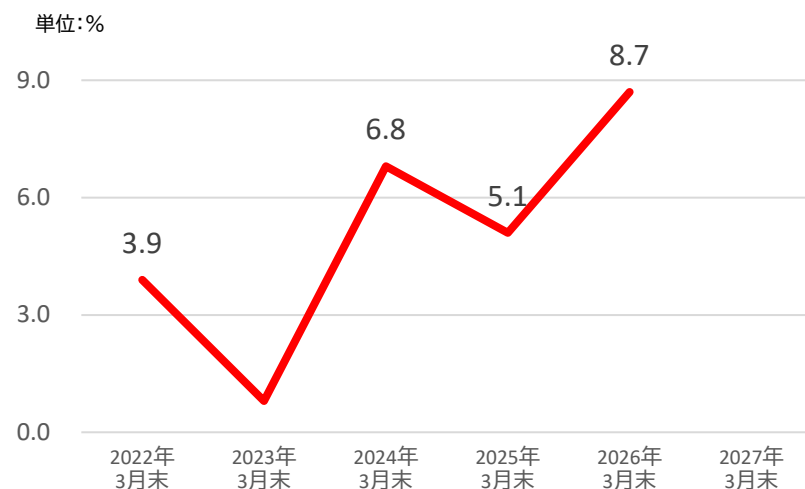
当社は、中期経営計画で掲げる ROE8%以上の継続達成により資本コストを上回る資本収益性を確保し、PBR1倍超の定着および更なる向上を目指してまいります。

■PBR(株価純資産倍率)



(出所)QUICKのデータを用いて丸八証券作成

■ROE(自己資本利益率)



※ROE は半期のため数値はありません。

企業価値向上のための成長戦略

資産運用の高度化

- ◆ 営業員の更なる資質向上
- ◆ 商品ラインナップの充実

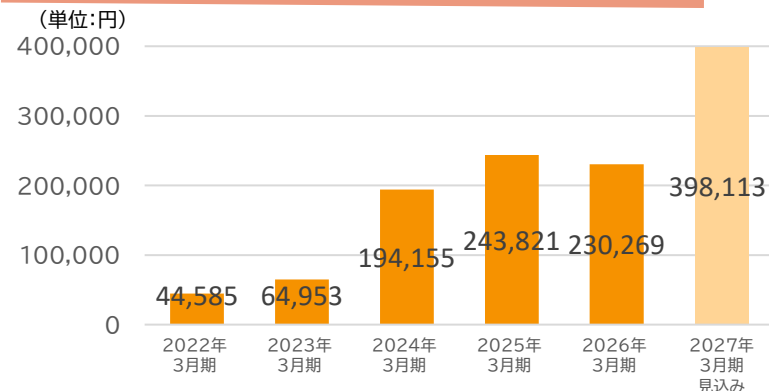
資産形成支援の強化

- ◆ 年齢別・職業別での金融リテラシー向上に向けた取組み
- ◆ NISA拡充への対応

世代間の円滑な資産承継

- ◆ 「家族サポート証券口座」の周知
- ◆ 外部ビジネスパートナーとの連携による専門性・優位性の提供

1人当たりの教育研修費



資産運用

- ・対面営業
- ・セミナー開催(株式・投資信託)
- ・個別相談会開催
- ・役社員資質向上



資産承継

- ・セミナー開催(相続・生前贈与)
- ・個別相談会開催
- ・外部ビジネスパートナー連携



資産移転

- ・「家族サポート証券口座」
- ※「家族サポート証券口座」は、日本証券業協会の登録商標です(登録商標第6920425号)。
- ・有価証券を活用した贈与

重点施策
実行

預り資産の拡大

収益構造の安定

ROE8%
以上達成
維持

企業価値
向上

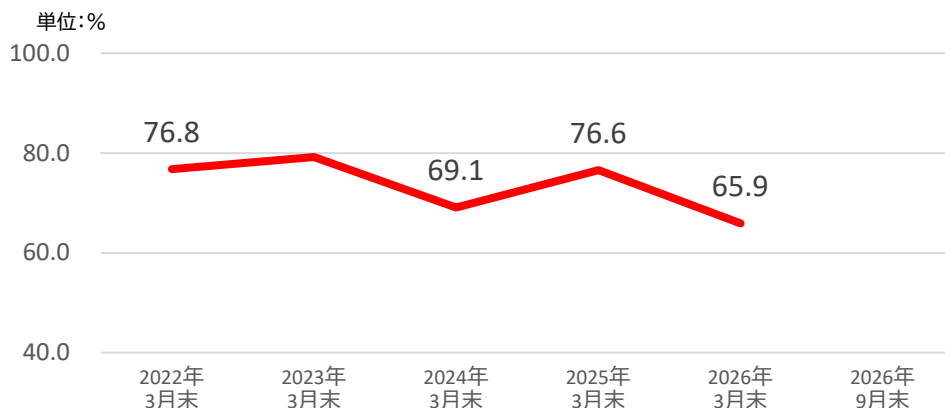
資本配分

①財務の健全性

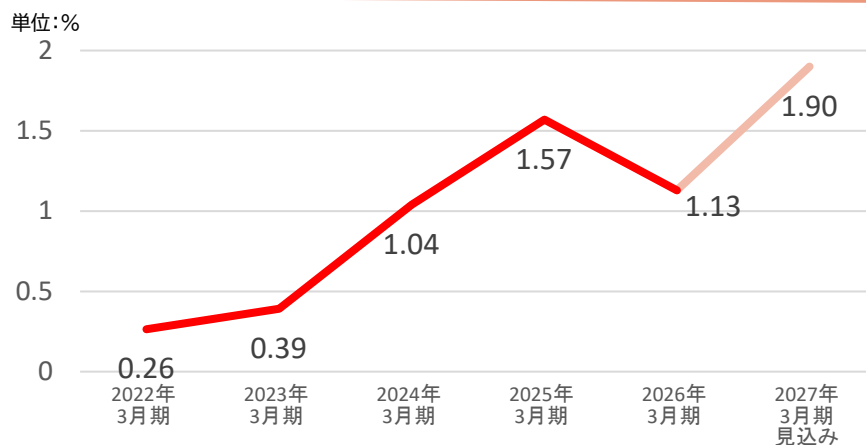
②人的資本の強化

③株主還元

■自己資本比率



■販管費に占める教育研修費比率

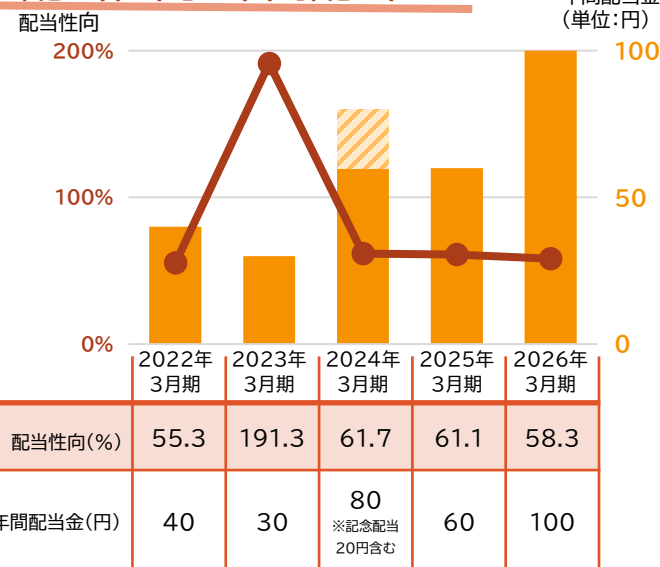


自社株資本コストと株価を意識した経営の観点から、自己株式の取得を実施

取得の内容

(1)取得対象株式の種類	当社普通株式
(2)取得した株式の総数	258,900株(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合6.48%)
(3)取得価額の総額	511,327,500円
(4)取得日	2026年8月3日
(5)取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付

■配当性向・年間配当金



今後の取り組み・進捗管理

PBR、株価、資本コストを継続確認し、中期経営計画数値目標達成に向け取り組んでまいります。

中期経営計画数値目標(2028年3月末)

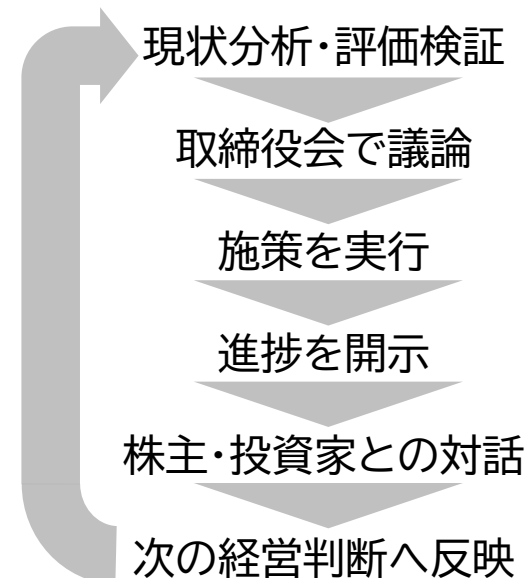
預り資産 3,600億円

ROE(自己資本利益率) 8%

取締役会で継続検証

- ①成長戦略とKPIの進捗
- ②成長投資の効果・優先順位
- ③必要自己資本・手元資金の水準
- ④保有資産の合理性・期待リターン
- ⑤株主還元の妥当性
- ⑥投資家との対話内容の反映

開示・対話のサイクル



丸八証券株式会社

(問合せ先)

マネジメント本部

TEL:052-307-0850

<https://www.maruhachi-sec.co.jp>

本資料は、最新の業績等に関する情報の提供を目的とするものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や将来の予測等は資料作成時の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではありません。